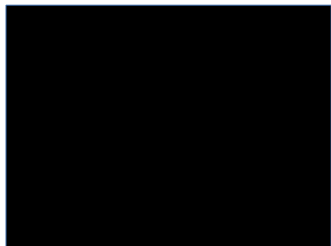



京都暮らし応援ネットワーク不当労働行為事件 第1回 調査調書

事 件 番 号	京 劳 委 令 和 3 年 (不) 第 1 号	
期 日	令和3年5月26日	自 午後2時05分 至 午後2時23分
場 所	京 都 府 劳 働 委 員 会 審 問 室	
出 席 し た 審 査 委 員 参 与 委 員	審 査 委 員 労働者側参与委員 使用者側参与委員	
出 頭 し た 当 事 者	申 立 代 理 人 申 立 代 理 人 申 立 補 佐 人 被 申 立 代 表 者 被 申 立 補 佐 人	 山 上 義 人 舟 木 浩

調 査 の 要 領

1 代理人・補佐人の許可



2 当事者の陳述

申立人は、令和3年3月23日付け申立書を陳述

被申立人は、令和3年4月5日付け答弁書を陳述

3 証拠の提出

申立人は、甲第1号証～甲第19号証を提出

被申立人は、乙第1号証～乙第4号証を提出

4 審査の進行

審査委員は、審査の進行について別紙のとおり述べた。

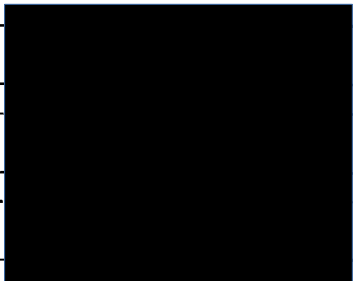
5 次回期日

令和3年7月12日（月）午前10時00分

事務局担当職員

事務局担当職員

審 査 委 員



以下余白

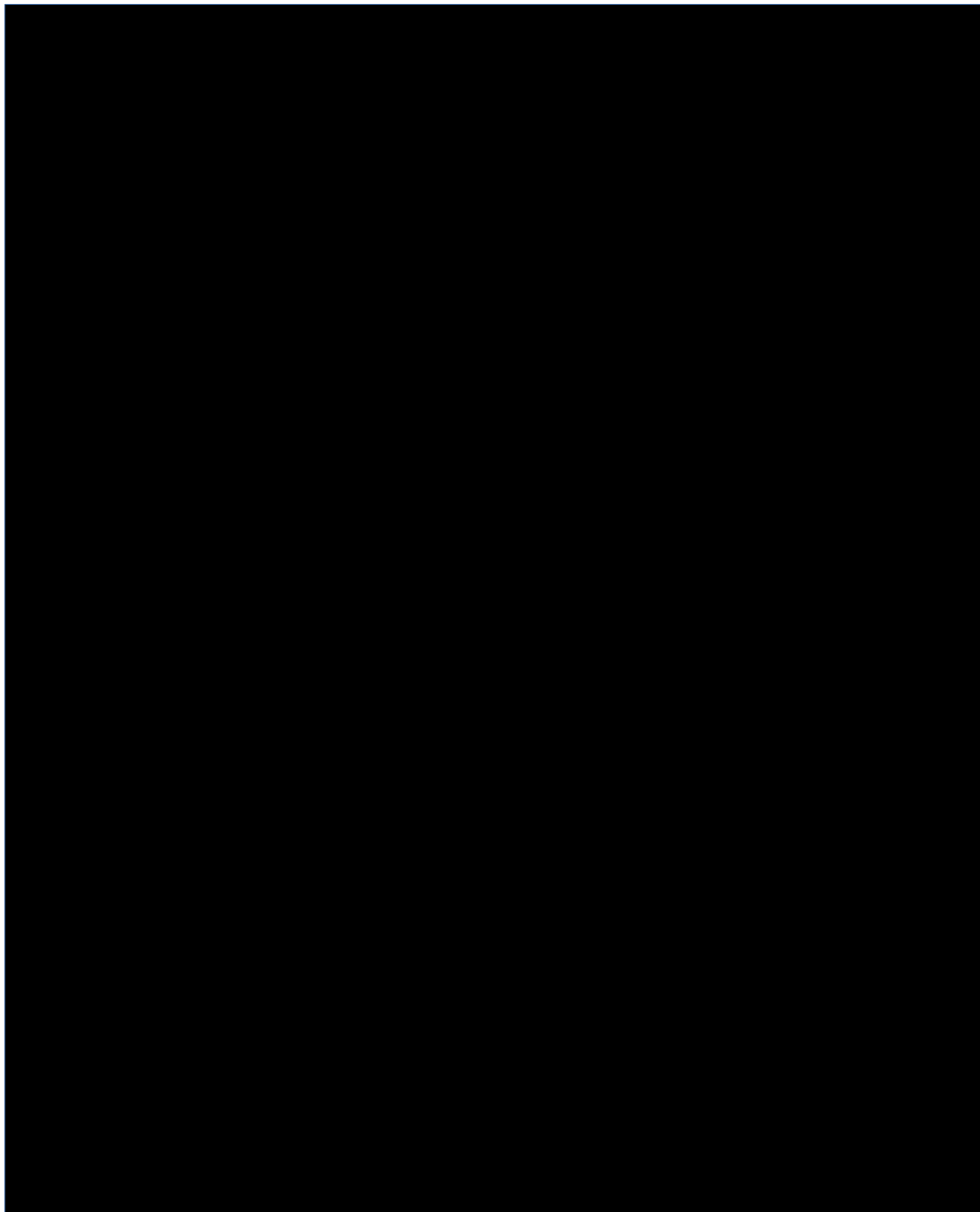
令和3年5月26日

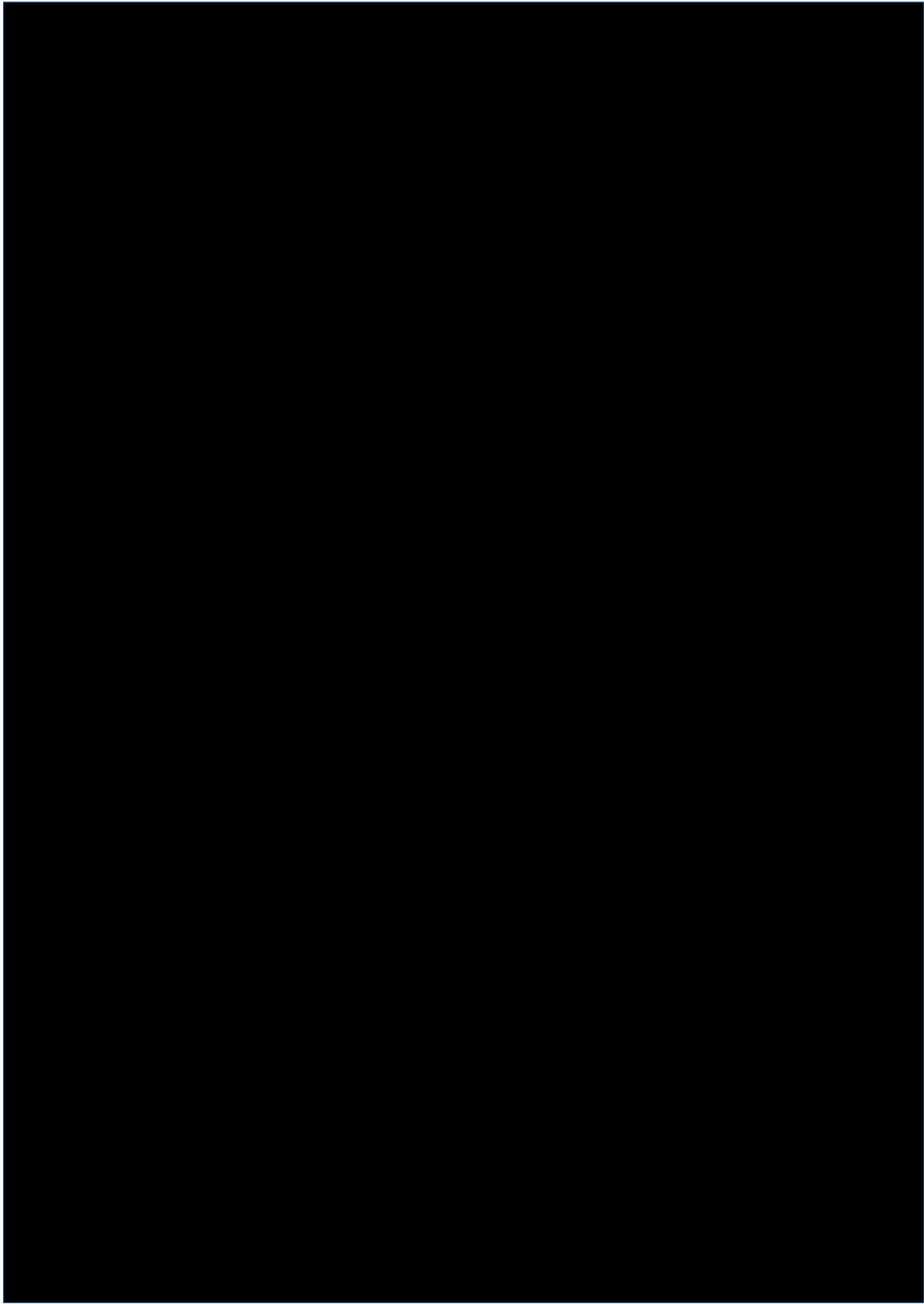
京都暮らし応援ネットワーク事件
第1回調査速記録

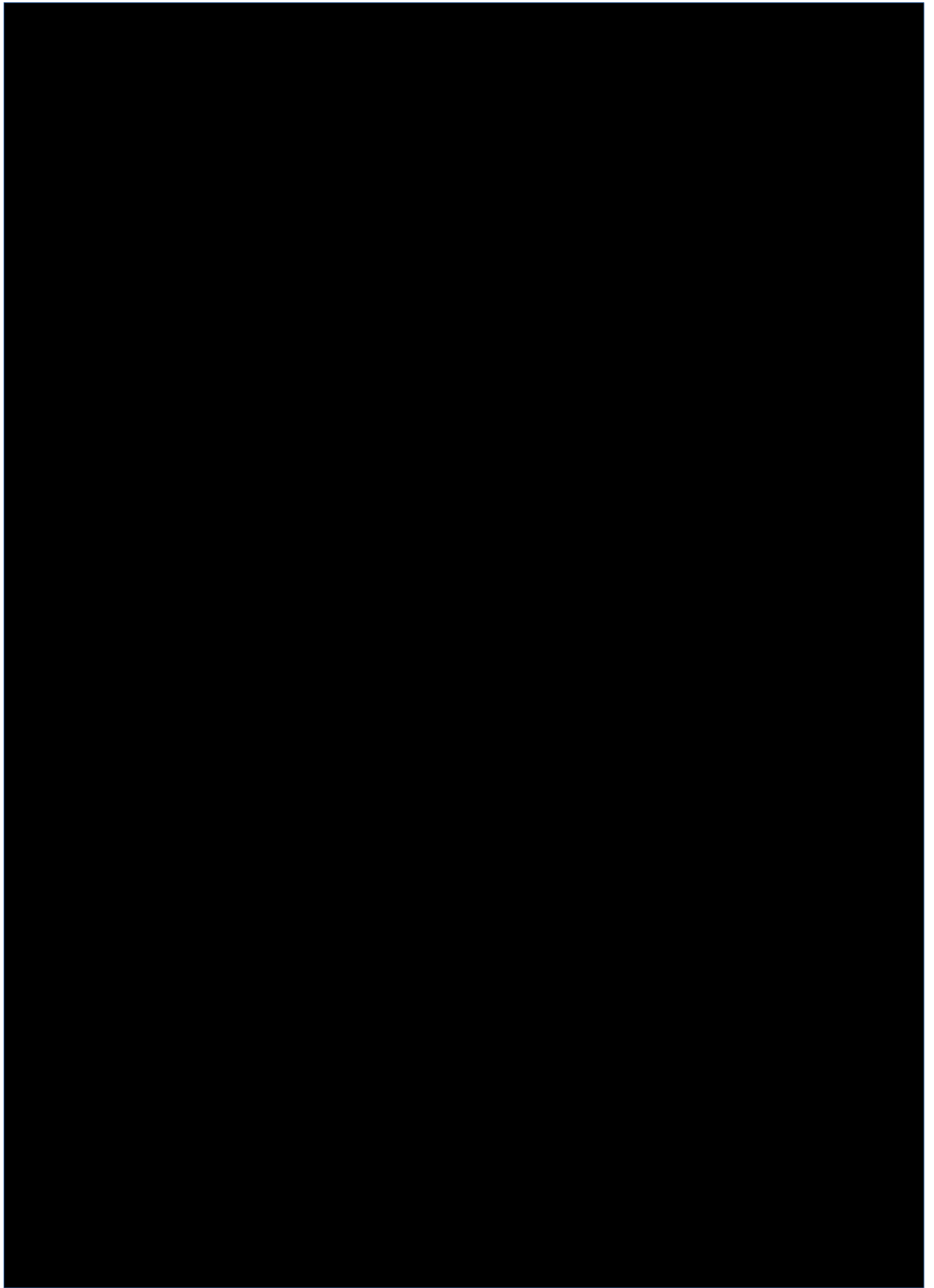
別紙

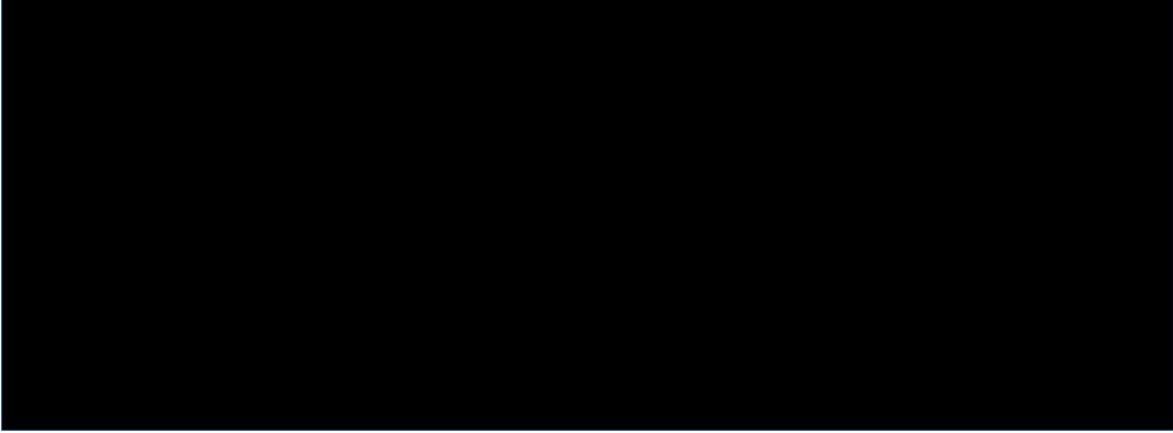
審査委員

ただいまから、京労委令和3年（不）第1号京都暮らし応援ネットワーク事件の第1回調査を開始いたします。どうぞよろしく願いいたします。








申立代理人

そうですね。適切な発言かどうか分からないんですけども。一つ、相手方の答弁書で今すぐぱっと見つからないんですけども、こちら側の申立書で労働法の理念を理解してないとか書いたところに対する返事のところ、被申立人はいわゆるNPO法人で云々かんぬんという書き方をしているところがあったんですが、労働法規におきましては、その使用者が株式会社であるとかNPO法人であるとかは特に関係がないのかなとか単純に思ったんですけども、そんな気がなったかなというのは一つ。

審査委員

ありがとうございます。今のことについて、御答弁されますか。また、これからの中でいろいろ。よろしいですか。

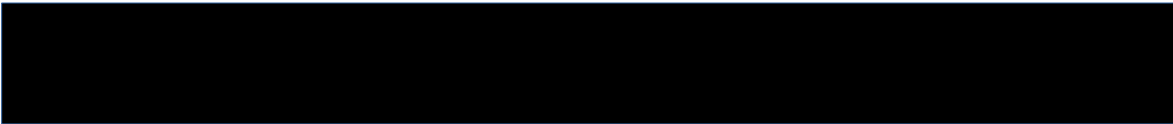
舟木被申立補佐人

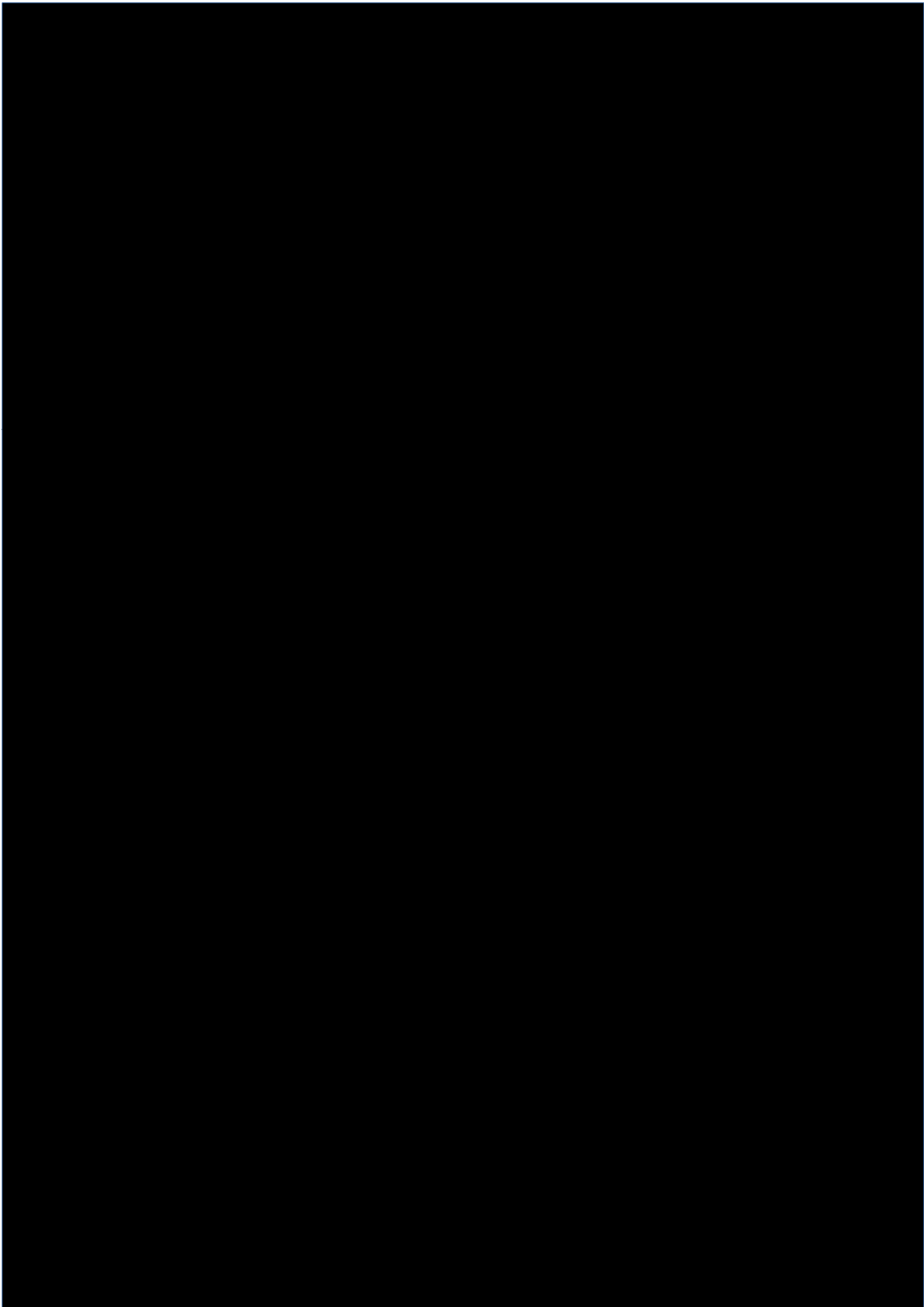
もちろん労働法規で雇用契約が、NPO法人が株式会社と同様ということ分かっています。それももともと理念を掲げている。株式会社であれば営利を目的としているということで、書かれているNPO法人であればそうではなくて、非営利活動を目的としているということを書いているだけですので、労働法に関してNPO法人だから労働法が適用されないと受け止められたとすれば、すみません。

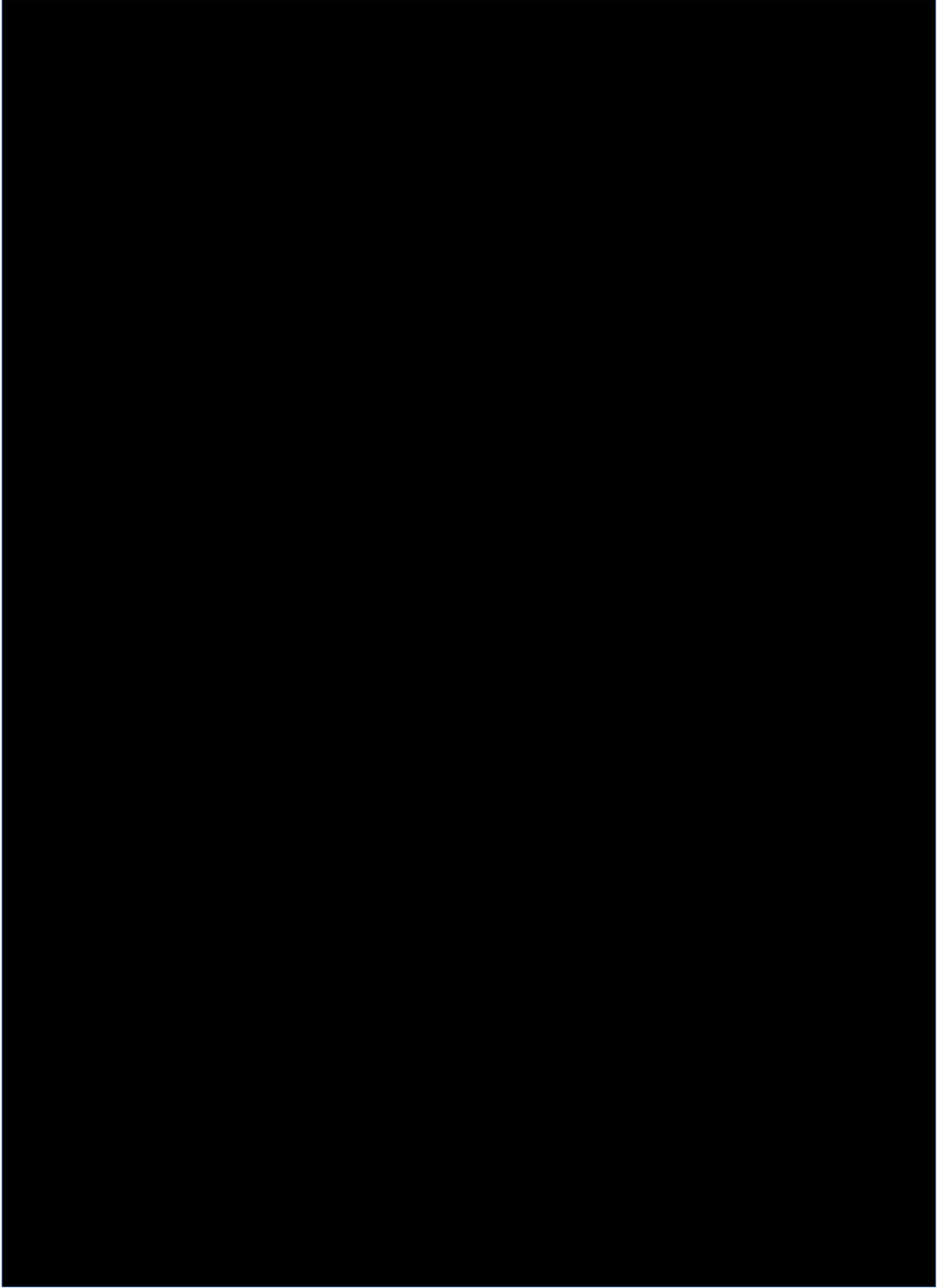
以上です。

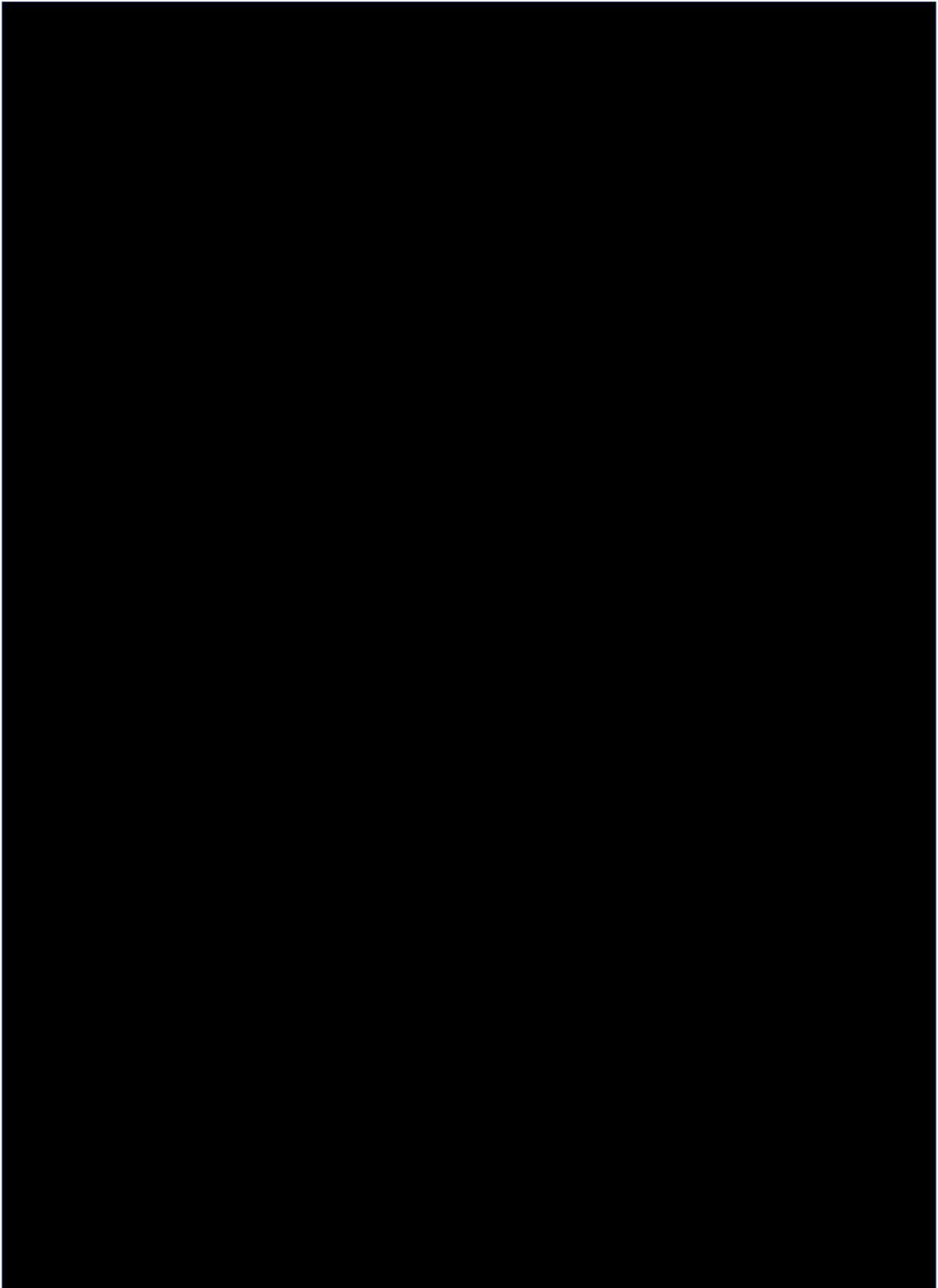
審査委員

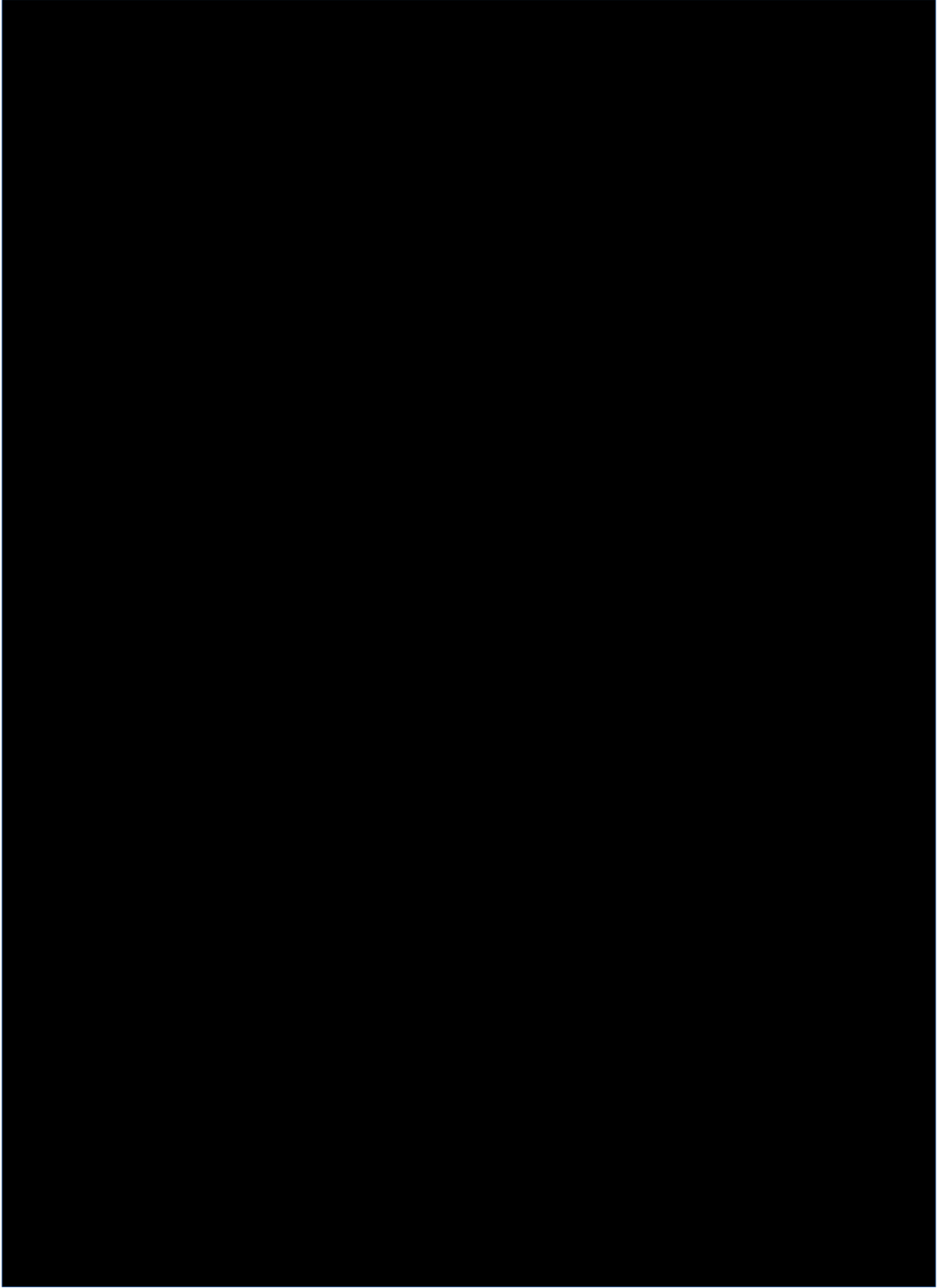
分かりました。そういうことでよろしゅうございますか。

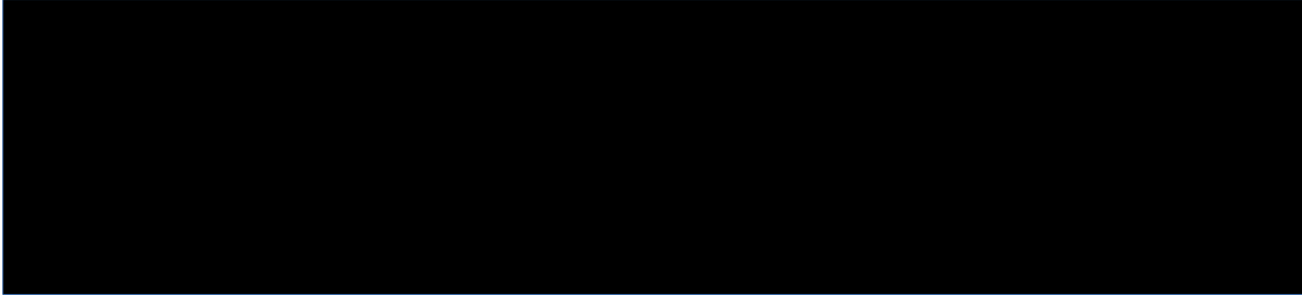












[次回期日を協議する。]

審査委員

7月12日、月曜日の10時からということをお願いいたします。

それでは本日の調査はこれで終了となりますけれども、できればそれぞれ個別に事情や御意向をお伺いしたいので、いましばらく控室でお待ちいただき、それぞれ後で呼ばしていただきたいと思っておりますので、ちょっとお待ちいただけるようお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

以下余白